

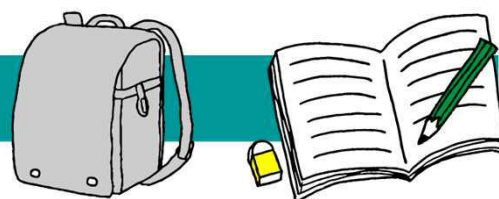
柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合（案）について

柴田小学校と千鳥小学校では、児童数が減少し、学校規模の小規模化が進んでいます。そして今後も、小規模の状況が継続していく見込みです。

教育委員会では、子どもたちにとってより充実した教育環境となるよう、柴田小学校、千鳥小学校、白水小学校の3校を統合し、望ましい学校規模を確保することを検討しています。

今回、検討中の統合案の概要をまとめさせていただきましたので、お知らせいたします。ご意見等ございましたら、下記連絡先までお願いいたします。

なお、あくまで、現段階の案であり、正式に統合が決定しているわけではありませんので、あらかじめご承知おきください。



1 学校規模の考え方

01 「小規模校」ってどのような学校なの？

	11 12				24 25				30 31(学級数)		
小学校	小規模				望ましい規模				大規模		過大規模
中学校	小規模	望ましい規模				大規模				過大規模	
	5 6		8 9		18 19		24 25		30 31(学級数)		

名古屋市では、小学校ではクラス替えのできない学年が生じる11学級以下、中学校では5学級以下の学校を「小規模校」と考えています。柴田小学校と千鳥小学校は小規模校に該当します。

02 小規模校のよいところ・困ることについて



小規模校の「よいところ」は？

一人一人の活躍の場が多い
みんなが主役

職員の目がよく届く
アットホームな雰囲気

盛んな異学年交流
縦割り活動が盛ん

学級数が少ないので施設をゆつたり使える



小規模校の「困ること」は？

行事が寂しく、教育効果が下がる

多様な考えに出会える機会が少ない

クラス替えができないと、人間関係でトラブルがあった場合に、嫌な気持ちを抱いたまま、我慢させている可能性がある

ずっと同じ顔触れだと、新しい気持ちで頑張ろうという思いや、切磋琢磨する気持ちが湧きにくい

男女比の偏りが生じやすい

集団学習、グループ活動などに制約が出る

【ご意見等ありましたら、お気軽にお知らせください。】

名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話：052-972-3282 FAX：052-972-4176 E-MAIL：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

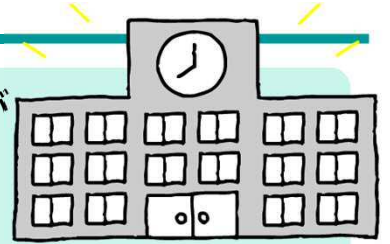
この資料がダウンロードできます→



2 統合の方向性について

01 どのような統合を検討しているの？

○柴田小と千鳥小は小規模校であり、下の表のとおり今後も小規模校が継続する見込みであることから、隣接する白水小学校と3校で統合し、統合場所は現在の白水小の場所を検討しています。



■2校での統合は考えられないの？

「柴田小と白水小の2校統合」または「千鳥小と白水小の2校統合」だと、残された1校の小規模が解消できません。また「柴田小と千鳥小の2校統合」は、場所が隣接していませんし、再び小規模校になってしまう可能性が高いと考えます。適切な学校規模を将来的にも確保できるように3校での統合が望ましいと考えています。

■名南中学校も一緒にして小中併設型の学校は考えられないの？

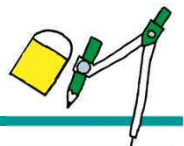
名南中まで統合に含めると大規模になり過ぎてしまいます。また、敷地面積を考えると統合場所は名南中の場所が想定されますが、柴田学区の児童から距離が遠くなり過ぎてしまいます。このように、小中併設型は適さないと考えています。

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
柴田小	126人 6学級	132人 6学級	129人 6学級	118人 6学級	116人 6学級	110人 6学級	108人 6学級
千鳥小	204人 8学級	215人 9学級	195人 8学級	182人 7学級	195人 8学級	197人 8学級	198人 8学級
白水小	282人 12学級	298人 12学級	302人 12学級	301人 12学級	299人 12学級	288人 11学級	271人 11学級
3校統合校	612人 22学級	645人 22学級	626人 22学級	601人 21学級	610人 21学級	595人 21学級	577人 20学級



※特別支援学級は、設置基準が異なることから、ここで示す数には含めていません。

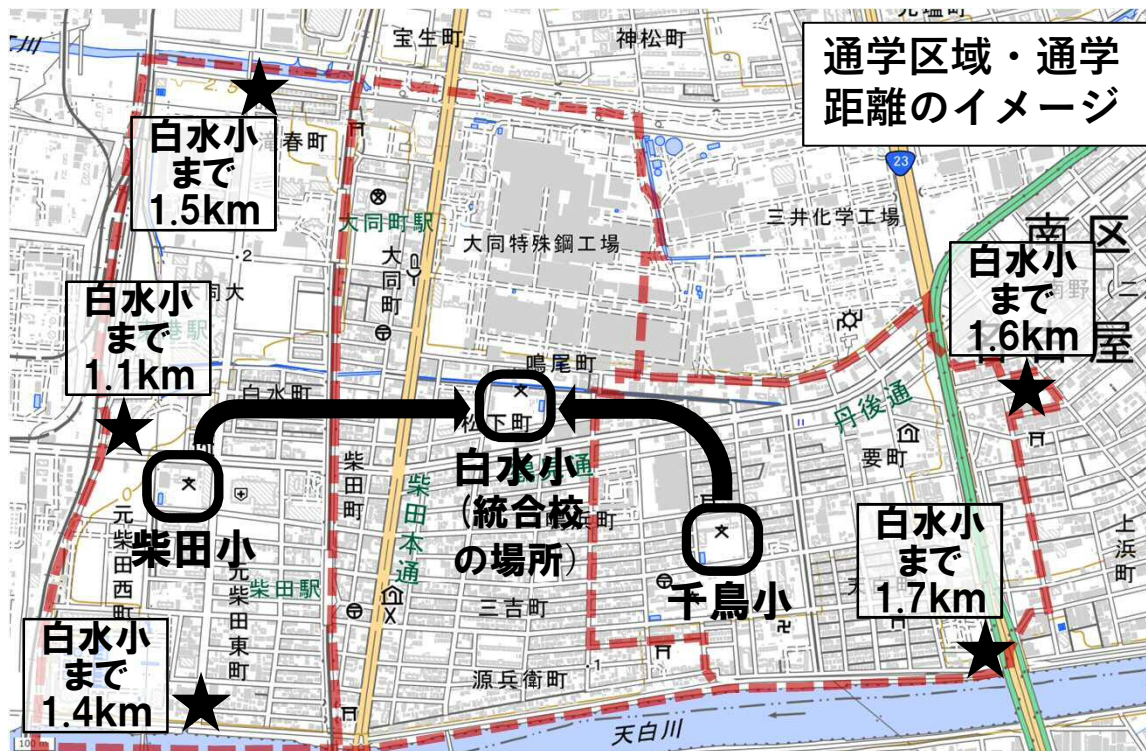
02 統合したら、どこに通学することになるの？遠くないの？



○統合校を開校する際は、いったん白水小の児童は、柴田小または千鳥小に通うことを検討しています。3年程度かけて、白水小学校の場所に新しい校舎を建設し、完成後にすべての児童が新校舎に通うことを想定をしています。

具体的な見通しは、後述の「3 今後のスケジュールについて(想定)」をご参照ください。

○名古屋市では、小中学校の通学は徒歩を基本とし、距離は小学校概ね2km、中学校概ね3kmを目安とします。柴田小、千鳥小の通学区域のうち白水小までの距離が最も遠い地域でも、市の基準の通学距離である2km以内となります。次のページの地図をご参照ください。



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。

03 統合したら、どんな校舎になるの？

白水小の校舎と体育館を建て直すことを検討しています。新しい学びに対応する充実した教育環境や、防災機能を兼ね備えた新しい校舎を建設する予定です。

参考 統合校の校舎のイメージ ※西区なごや小学校
 下の写真は西区のなごや小学校です。なごや小学校は、平成27年に幅下小学校・那古野小学校・江西小学校の3校が統合し、開校しました。



従来の1.5倍の広さの教室



きれいで明るいトイレ 多機能トイレも併設



木のぬくもりが感じられる内装



エレベーター
3



避難者支援室

04 通学路の安全は大丈夫なの？

統合の決定後、統合校の開校に向けて、安全点検や地域・交通状況などの特性を踏まえて新しい通学路を設定するとともに、必要な安全対策について関係行政機関と連携を図り、通学の安全確保に取り組みます。

(これまでの取り組みの例)

歩行者用信号機の時間調整、ガードレールなどの安全施設設置、注意標識設置、交通指導員配置、通学練習会実施など



05 柴田小と千鳥小の跡地はどうなるの？

跡地活用の検討は、統合決定後に始まります。避難所機能と地域の活動の場に配慮しながら、教育委員会だけでなく市の他部局も一緒に、どのような活用ができるかを検討します。過去の跡地活用では、私立学校や区役所、ワーキングスペースなどの例があります。

06 3学区の地域の活動はどうなるの？

小学校が統合しても、地域の活動は3つの学区のまま存続できます。

3 今後のスケジュールについて(想定)

これまでの統合の先行事例を踏まえ、想定するスケジュールです。現在は①の途中にあたります。

